



鶴岡市議会議員〔無会派・産業建設常任委員会〕

田中ひろし 市政報告

 2014
 APR.

＜連絡先＞ 事務所 〒997-0036 山形県鶴岡市家中新町 13-35 メール：officefon@gmail.com
 TEL 0235-22-0068 FAX 0235-22-0098
 議会事務局 〒997-8601 山形県鶴岡市馬場町 9-25 鶴岡市役所 2階
 TEL 0235-25-2111 FAX 0235-24-9071

4月25日金曜日、鶴岡市議会臨時会で新文化会館の事業費を上乗せする補正予算を審議し、可決されました。私は、将来に渡るメリット・デメリットを勘案して賛成しました。もちろん事業費が増えれば財政負担も重くなるため、悩み抜いた末の苦渋の決断です。世界に向けた発信力のあるハードと、市民の知恵と魂を集めたソフト（こちらのほうが重要!!!）の両輪で、鶴岡市を力強く未来へ進めていきましょう。

新文化会館の早期完成を！

以下、今回の補正予算と、全体の事業費について述べていきます。

今回の補正予算は、文化会館整備事業費に約2.4億円を増額するもの。補正後の一般会計予算総額は約630億円となります。

また、舞台設備工事の分も改築工事の中に一本化して、合計35.4億円を限度とする債務負担行為が設定されました。「債務負担行為」とは、事業が複数年度に渡る時に、予算を先取りしておくこと。この中から来年度、再来年度の予算に歳出として計上されていくことになります。

概算の事業費は、当初45億円の予定でしたが、先月の定例会での当局提案では60億円、更に今回の増額を受けて66億円ほどに上る見通し。背景として、公共工事が激増したことによる労務単価や資機材単価の上昇、そして職人不足があります。被災地復興のための工事は最優先ですが、**東京オリンピックはさにあらず！**石巻市の民生委員さんも復興住宅建設の遅れを嘆いておられました。

ハードとソフトの両輪で、力強く未来へ！

地方の犠牲の上に成立する「オ・モ・テ・ナ・シ」とはなんぞや？

■ 改めて、妹島和世設計の意義を・・・

新文化会館は鶴岡市の新しいランドマークであり、これからの数十年間、私の孫やひ孫の世代まで使い続ける文化拠点。ルーブル美術館の新館設計も手がけたSANAA・妹島和世による特徴的な外観は、鶴岡市を、静かに、そして力強く世界に発信してくれるはず。また、SANAAならではの交流を重視した「公園のような建築」が、世代やジャンルを越えた市民をつなぎ、まちが活性化していく装置となる。

■ 早期完成の必要性は・・・

2年半にも及ぶ閉館期間は、じわじわと市民の文化活動を後退させている。早期に工事発注し、決して再来年度の開館を遅らせることのないように！ 但し、地元経済へのメリットを低めないよう、工事発注にあたっては最大限の配慮が必要。

■ 鶴岡市全体への波及効果・・・

新文化会館から致道館、アートフォーラム、大宝館、タウンキャンパス、致道博物館と続くエリアは、鶴岡市の都市イメージの”顔”となる「文化都心」。東北一広い鶴岡市だからこそ、魅力ある文化都心に世界中から人を集め、森・里・海との相乗効果を目指すべきである。

【今号目次】

- ・新文化会館の早期完成を！
- ・平成26年3月定例会一般質問報告
- ・《ルネサス鶴岡工場》情報局
- ・さよなら、アマゾン民族館！

定例会報告

平成26年3月定例会を振り返ります。
 なお、鶴岡市議会ホームページから、本会議の映像や会議録をご覧ください。
 → <http://www.city.tsuruoka.yamagata.jp/gikai/>

平成26年3月定例会・一般質問

◆テーマ

1. 子ども読書活動推進計画について
 - (1) 策定スケジュールについて
 - (2) 策定体制について
2. 空き家対策について
 - (1) 移住定住対策について
 - (2) 防災の観点について
3. 公園について
 - (1) 鶴岡公園の整備について
 - (2) その他の公園について



1. 子ども読書活動推進計画について

全国屈指の充実を誇る、鶴岡市の小学校での学校図書館教育。しかし、感性豊かな中高生の時期の読書量は寂しい限りです。また、乳幼児期の絵本を通じた親子のふれあいも普及していく余地があります。

「読書」とは、単なるヒマつぶしや娯楽ではありません。全ての子ども達に情報リテラシーとしなやかな知性を身に付けさせるための土台として、赤ちゃんから中高生まで総合的に支えていく《子ども読書活動推進計画》が必須です！

2010年3月定例会には「ここ3年以内に、市民の声を幅広く反映した鶴岡らしい推進計画策定を目指したい」と教育長が答弁しましたが、長い間進捗がありませんでした。このたび本格的に策定作業に入ることは、継続して質問し続けてきた者として嬉しい限りです。

■田中議員 0歳から18歳までが対象の幅広い施策であり、策定にあたっては多様な現場の声と有識者からのアドバイスが欠かせない。策定体制はどう想定しているか？また、市民への周知を盛り上げるために、民間の読書推進団体などと連携して中間報告会を共同開催してはどうか？策定直前にパブリックコメントを取るだけでは、市民の関心は高まらない。

■教育部長 昨年8月、市の子育て推進課、健康課、教育委員会の関係課で組織した庁内会議で、来年度設置予定の「子ども読書活動推進計画策定委員会」に向けた準備を進めてきた。策定委員には図書館協議会の委員、小・中・高の学校図書館関係者、PTA、地域や学校で活動している読み聞かせのボランティアなどから10名程度を選任する。

子どもの読書と学びを応援
 議員 子ども読書活動推進計画の策定体制とスケジュールは、教育部長 市立図書館創立百周年にあたる平成27年度に策定予定である。策定委員会は小中の学校図書館関係者、PTA、地域の読書ボランティアなど10人程度で構成する。今年度、約6千人の市民に読書アンケートを実施した結果も資料として活用する。市のホームページで中間報告し、その後にパブリックコメントも実施予定である。



つるおか市議会だより
 平成26年
 3月定例会号



空き家の有効活用と危険対策は
 議員 避難者の本市への定住支援策と、留学生向け住宅としての空き家活用は、豪雪地域における危険空き家の適正管理は、建設部長 避難者の定住としては空き家を含め9件の実績がある。今後も県の助成制度を活用したり、本市の事業として支援制度を検討するなど定住促進に努めたい。短期留学生の滞在先として、学校近くの空き家が活用できるかどうか検討したい。
 市民部長 豪雪地域の空き家相談は、雪による倒壊や落雪などに関する懸念が大半である。所有者等に自ら適正管理対策を講じるよう指導しているが、所有者が不明、相続放棄などのケースもある。所有者が資力不足のため、地域住民が協力して空き家を解体した事例もある。

昨年10月から小・中・高の児童・生徒及びその保護者と、幼稚園、保育園の園児の保護者、合わせて約6000名以上に読書活動の実態把握のためのアンケートを依頼し、現在集計作業中で、策定委員会での協議がある程度進んだ段階で、市のホームページを通じて中間報告し、パブリックコメントを経て、平成27年度の早い時期に策定予定。中間報告のためのイベント開催は想定していない。

2. 空き家の有効活用と危険対策は

東日本大震災から丸3年。鶴岡への避難者は未だ260名を数えます。来年3月に現在の居住先が入居期限を迎える方も多い中、避難者が鶴岡への移住・定住を検討しやすくするために、優良な空き家を活用した支援策を求めました。

先日、山大農学部と鶴岡市議会の意見交換を行った際、留学生向けの住宅不足解消を要望されました。優良な空き家をシェアハウスとして貸し出すなど、民間業者とも連携した柔軟に活用すべき、と提言しました。

朝日地域など雪の多い地域では、雪下ろしをしない空き家の倒壊など、防災上、市街地とは異なる緊急性があります。通学路や近所の民家への危険が数年間も放置されているケースもあり、住民の安心安全な暮らしを守るために、所有者への働きかけなど適正管理への一層の対応を求めました。

■田中議員 朝日地域などの豪雪地域では、雪おろしをしないと一冬で屋根が落ちてしまうなど、防災上、市街地とは全く異なる緊急性がある。通学路や近所の民家への危険が数年間にわたって放置されている空き家もある。住民の安全・安心な暮らしを守る視点から、所有者への働きかけなど空き家条例に基づく適正管理を強化する必要があるのではないかと。

■建設部長 避難者の定住としては空き家を含め9件の実績がある。今後も県の助成制度を活用したり、本市の事業として支援制度を検討するなど定住促進に努めたい。短期留学生の滞在先として、学校近くの空き家が活用できるかどうか検討したい。

■市民部長 朝日地域の空き家相談は、豪雪による倒壊や落雪など雪に関する懸念が大半。所有者等に自ら適正管理対策を講じるよう指導しているが、所有者が不明、相続放棄などのケースもある。所有者が資力不足のため、地域住民が協力して空き家を解体した事例もある。

3. 公園について

バラ園に大型バスの駐車場ができたり、荘内神社参道に石畳が整備されるなど、鶴岡公園の整備が進んでいます。一方、「子ども連れで遊べる公園を増やして!」と要望する声も少なくありません。



■田中議員 「日本さくらの名所100選」に選ばれている鶴岡公園には、森林文化都市にふさわしい多様な植栽も必要である。長期的な植栽整備への方向性は？

みんなの公園をみんなで創っていく視点から、整備作業への市民参加や、樹木やベンチのオーナー制度を導入してはどうか？

また、市内の公園ではシニア層の姿が目立つ。少子化対策の観点からも、親子連れ、子ども達が活動しやすい空間を増やしていくべきである。市街地に、遊具に頼らない冒険や遊びを体験できる「プレーパーク」のような公園を整備してはどうか？

■建設部長 平成12年度策定の鶴岡公園整備基本計画では、修景を行う場合は既存樹木との調和に配慮した配植を行う／桜名所100選に選ばれたことを踏まえ、堀端の桜並木は現状保存に配慮する／低木類を混植し、緑豊かな雰囲気を醸成する、などの整備方針を掲げている。整備計画の方針に基づき、桜や松について1本ごとの現状調査を行い、年次的に整備を行っていく。森林文化都市の城址公園としての環境を守りながら、既存の植栽の維持管理・更新を進めていきたい。

鶴岡公園では、毎年十数団体に上るボランティアが除草やゴミ拾いなどの維持管理作業、砂利による園部の補修整備作業などを行ってきた。今後も作業の安全性や専門性を考慮しながら、拡充していきたい。記念樹やベンチなどのオーナー制度については検討すべき課題が多い。

《ルネサス鶴岡工場》情報局 ~ facebook

<https://www.facebook.com/rene.tsuru.info>

昨年7月「ルネサス鶴岡工場が閉鎖の方針」との報道。900人以上の従業員を抱え、県内の取引企業は700社以上にのぼる市内最大規模の企業だけに、閉鎖となれば地域経済にダメージを与えるのは必至でした。しかし、...



(平成26年4月1日付 山形新聞より)

≫ 「ルネサス鶴岡工場」がソニーに移行

「ルネサス鶴岡工場」は、この4月1日から「ソニーセミコンダクタ 山形テクノロジーセンター」として稼働しました。

鶴岡工場の従業員約680人のうち500人超がソニーに移籍し、残りの約180人と鶴岡東工場の約200人は「ルネサスセミコンダクタ マニュファクチュアリング」の社員として現在の生産体制を維持することになります。

山形新聞の取材に、ソニー側に移る40代女性は「20年近く働いてきて、ソニーに譲渡されて複雑な気持はあるが、工場閉鎖を免れてホッとしている」と語り、ルネサス側に残る40代男性は「一緒に働いた人と離れ離れになるのは寂しいが、これも時代の流れ。一日一日を頑張りたい」と語った。

コラム さよなら、アマゾン民族館！

3月末をもって、アマゾン民族館が惜しまれながらも閉館しました。出羽庄内国際村が設立されて、今年で20周年。アマゾン民族館が閉館しても、草の根の国際交流と多文化共生の理想は不滅です。

今年度、国際村ではさまざまな20周年記念事業を行っていきます。日本語教室やワールドバザールなど、これまでの蓄積を生かした未来志向で！私も実行委員の一人として全力を尽くします。

思い起こせば小学4年生の頃、《アマゾン教室》という学習塾に通い始めたのが、山口先生ご夫妻との出会いでした。アマゾン民族館&自然館が鶴岡市にあった誇りをいつまでも忘れずにいたいものです。

ブログ ツイッター フェイスブック
BLOG / twitter / Facebook での情報発信も！

<http://tanaka-tsuruoka.net/>
http://twitter.com/tanaka_hiroshi
<http://www.facebook.com/tanaka.officefon>